

JAAC だより

～ 日本の新卒者採用事情（後編①）～

— 就職活動は「自分を知ること」から始まる —

前々号と前号において「日本の新卒者採用事情」と称して、社会と企業の間を通して今年度の新卒者がどのように見られているのか、そして、一般的に新卒者の離職率は「3年4割」と言われ、就職後3年間で約4割が辞めていくという現実についてお話をしてきました。その退職の主な理由である、(1) 仕事が自分に合わない・つまらない、(2) 人間関係がうまくいかない、(3) 会社に将来性がない、の3点を挙げてそれぞれを検証しました。このように、就職活動の結果として得た「就職」にはとても厳しい現実が付きまわっているんですね。このような数字で表される現実をしっかりと心に受け止めることはとても大切なことです。そして、このような状況に陥らないためにも、しっかりとした計画性をもった就職活動と、就職に向けての心構えと準備を進めることが重要なことだと思います。それでは、皆さんと一緒に具体的な対応策について考えてまいりましょう。

就職活動は「自分を知ること」から始まると言われています。「自分を知ること」とは、単に自己分析をすることとは違います。ここで言う「自分を知ること」とは、皆さんが将来の自分の姿や、自分のあり方をどのように考えているかと言うことなのです。それでは具体的に整理しながら考えてみましょう。

1. 自分は何をする人になりたいのかを考えましょう： 例えば、弁護士や看護師、フライト（キャビン）・アテンダントなどは専門的な職業の一例になりますね。これらは専門的な資格や訓練を必要とする職業で、その職業名から何をする人なのかが一目瞭然と分かるものです。ところが、事務員とか営業マンなどと言った場合は、漠然とした言い表し方となり、その言葉だけでは何の事務を行う人なのか、また、何の営業をする人なのか明確には分かりません。そこでまず、「業界」と「職種」という言葉を使って、自分の就きたい職業を明確にしていきましょう。一例を挙げると、『「金融業界」の中の銀行員として、為替ディーラーという「職種」に就きたい』という言い方をすると、具体的に何をする人なのか分かってきますね。このように、就きたい仕事を「業界」と「職種」という言葉で具体的に表していくと、自分の将来の姿が見えてくると思います。
2. 希望する職業と職種への可能性と、その仕事に対する向き、不向きを考えましょう： 自分が将来なりたいと希望する職業と、実際に自分がなれる職業とは違うことを認識しましょう。例えば、仮に全ての航空会社がフライト（キャビン）・アテンダント職の身長は160cm以上という条件を付加している場合、155cmの身長の方は残念ながらフライト（キャビン）・アテンダントにはなれません。また、数学が苦手な数字が嫌いという人には会計士という仕事は向かないかもしれませんね。このように自分ではどうにも変えることが出来ない肉体的理由や、或いは能力や資質と言った理由により、希望する職業に就けない場合がありますね。また、自分の性格を客観的に知ることも大切なことです。人と話すことが多い接客業が好きな人や、人の前で話すことが苦手な人、一日中オフィスの中で机に向かって仕事をするよりも、外で動き回るの方が好きな人など、個人の性格によって自分に合った職種を考えることも必要です。
3. ある程度の将来設計を立ててみましょう： せっかく優良な企業での就職が決まったのに、3年後には辞めてしまったという人々の中には、転職をして異なる業界へ進む人もいれば、同じ職種のまま単に会社を変えるという人もいます。人は自分を取り巻く環境によって慣らされる一面を持っていますので、会社を変えるということは口で言うほど簡単なことではありません。さらには、転職によって給料が減ったりすることもあるので、様々な条件面について熟慮することが必要ですね。そこで、卒業後初めての就職を自分の将来における「目標」とするのか、それともそれを将来の夢に向けての「過程」の一つとするのかを考えてみましょう。就職を「目標」とするのであれば、ややもすれば一生その会社で仕事をするようになるわけですから、限りなく自分の希望に近い会社と職業を選択しなくてはなりません。また、将来の自分の姿を実現するための「過程」として就職するのであれば、転職後の自分にとって有益な結果をもたらす会社と職業や職種を選ぶ必要があると思います。このように、卒業後初めての就職は、皆さん一人ひとりの考え方によって異なる意味を持つものなのです。

普段、大学の勉強で忙しい日々を過ごしている皆さんにおかれては、落ち着いて「自分を知り」ための時間を作るのが容易ではないと思います。しかし、就職活動を始めるということは、いきなり企業や会社の名前を調べることから始めることではありません。就職をするのは皆さん自身なので、まずは自分自身を良く知ることから第一歩を踏み出してみましょう。次号では、就職活動の開始時期やその方法、心構えと言った点について考えてみましょう。 (カリフォルニア事務局： 照井)

Siesta ちょっと、一休みしませんか・・・?

～ June Bride (六月の花嫁) ～

日本でも June Bride (ジュン・ブライド) に憧れる女性が多いようです。日本語では「6月の花嫁」とも言うのでしょうか。梅雨の季節でありながら、結婚式場は6月になると忙しくなるそうです。もともとはローマ神話に出てくる女神の話に由来し、6月は「結婚と女性の守護神」である Juno (ユーノー：英語読みではジュノー) の月とされ、この月に結婚する女性は幸福になると伝えられています。その真意の程は良くわかりませんが、ローマ時代には結婚時期を規制したり、秋の穀物収穫の時期に出産が重ならないように配慮したとか、その他にも諸説は色々あるようです。いずれにしても、欧米をはじめ日本でも June Bride を狙って結婚式を挙げるカップルが多いのは事実のようです。結婚は男性と女性の双方に関わることなのに、女性だけに何らかの意味を持つ言葉や習慣が与えられているのは不公平のようにも感じます。男性だって、結構ロマンチックですよ。いや、男性の方が女性よりもロマンチストかな・・・。男子学生諸君、君はどう思う!?

Help Line

FAQ

「インターンシップへのビザの切り替えは必要ですか？」

A: インターンシップには2つの種類があります。短大や4年制大学を卒業の後、1年間に限り留学 (F-1) ビザによって有給で仕事ができる OPT (Optional Practical Training) 制度があります。一般の留学生の場合は、この制度を利用することを勧めます。もう一つは、交流 (J-1) ビザによる最長18ヶ月までの有給インターンシップ制度です。この制度は、自分の専門分野での就業年数などが考慮される場合がありますので、一般的には卒業後に日本で就職をし、3年から5年を経過してから J-1 ビザを申請・取得して渡米するものです。JAAC 生が卒業後にインターンシップを行う際は、OPT 制度を活用してアメリカでの企業内研修を経験することが合法的な最良の手段だと思います。この場合は、ビザを切り替える必要がないので、煩わしい手続きをする必要がないのが魅力ですね。

【編集後記】 ●留学生にとっての夏休みは、帰省して就職活動を行う大切な時期でもあります。少しでも多くの企業の採用情報を得ながら有意義な活動をしていただきたい。経済と景気の上向き傾向が見られるようになったとは言え、来年と再来年の就職は今までよりも厳しいものとなるだろう、と言われている▼今年もまた日本全国が入梅した。イヤ～な季節である。ついこの間新年を迎えたと思ったが、もう今年も残りの半分を折り返す時期となった。梅雨が終われば、また猛暑がやってくる■新型インフルエンザの話題が減ってきたが油断は禁物だ。日本での感染者数は 600 人を超えた▲結婚相手をなかなか見つけられず、『婚カツ (結婚活動の略)』に励む男女が増えている。年令もまちまちだ。最近、この『婚カツ』という言葉をよく聞く。TV ドラマにもなっているほどだ。婚カツ中の女性もやはり June Bride (ジュン・ブライド) 願望が強いらしい。『来年の6月に June Bride (ジュン・ブライド) で結婚する予定なので、遅くとも年末までには相手を探すつもりです!!』と、街角のインタビューに答えていた女性がいた。そんな決め方でいいのかなあ◆ (照井)

Let me remind you . . .

★JAAC 生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

- ▲新型インフルエンザにおける注意喚起： 何らかの体調不良を感じたら、直ぐに JAAC カウンセラーに相談し、医療機関等での適切な治療と処置を受けるようにしてください。
- ▼夏休みに帰省する皆さんへ： 航空券の手配は済みましたか？ 特にアメリカ国内での乗り継ぎ便を利用する皆さんは十分な余裕をもって事前に予約をされることをお勧めします。空港到着後、検疫・入国及び税関審査等には通常よりも長い時間を費やすことが予想されますので、国内の乗り継ぎ便やバス等への乗り換えについては十分な時間をもって行うことをお勧めします。なお、帰国に際しては、インターネットや保護者との連絡を通じて、最新の日本国内における新型インフルエンザの感染状況についての情報を得るようにしてください。また、必要に応じて空港到着後に予防マスクを購入し、感染の予防をされることをお勧めします。
- 帰省中にパスポートや留学 (F-1) ビザの更新手続きをされる方へ： 夏休みを利用して短期留学をする日本人学生が多いことから、6月と7月は留学 (F-1) ビザ取得手続きに要する時間が通常よりもかかる場合があります。十分な余裕をもって更新手続きを行ってください。なお、手続き上のご質問等はお気軽にご相談ください。
- ★帰省中に就職活動をされる方へ： 必要に応じて各企業の就職担当者には必ず連絡が取れる連絡先を伝えてください。また、場合によっては帰省している期間や再渡米する日程等を予め伝えておくと思います。提出する書類のうち、在籍している大学から取り寄せるものがある場合は、大学側にその旨を伝えて迅速な対応をお願いしましょう。アメリカの大学側も夏休み中は通常とは異なる時間帯で窓口業務を行う場合がありますので、気をつけてください。

●JAAC 本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル 0120-525-626 tokai@jaac.co.jp 担当：高瀬

◎JAAC 日米学術センター 鈴木：t.suzuki@jaac.co.jp ◎カリフォルニア担当：照井 k-terui@mtg.biglobe.ne.jp